

みかん

まもなく
収穫を迎えます

果樹林産センター
杉本 悠太郎



《着果管理》

先月から行っている樹上選果を引き続き行ってください。天成り果などは秋芽の発生しないこの時期に基部から落としましょう。台風24号の影響で、風スレ果の発生があるかと思えます。早生の収穫などで忙しい時期ですが収穫まで樹上選果を徹底してください。

《浮皮軽減対策》

4〜5分着色期がクレントの2回目の散布時期です。また、フィガロン乳剤は蚩尻期と蚩尻期から2週間後が散布時期です。フィガロンの使用回数は熟期促進と合わせて2回まで、摘果剤等も含めて総使用回数4回までです。ただし、樹勢の低下した樹には散布しないでください。

《秋肥》

秋肥は、収穫後の樹勢回復や耐寒性を向上させる「礼肥」的な働きと、次年度の着果量・発芽量を確保する「元肥」的な働きがあり重要な施肥です。地温が12℃以下になると吸収率が悪くなるため適期に適量を施用してください。

青島温州（11月上旬）

粒状固形248 60kg/10aまたは、柑配6号 80kg/10a

《収穫》

平成30年産の生育期間中の気温は平年より高く推移しており、生育が前進しています。例年の収穫開始時期にかかわらず、果実の生育を見て収穫を始めてください。着色が7部以上のものから区分採取をしてください。収穫時は手袋をはめ、軸の二度切りを徹底し、

丁寧な作業を心掛けましょう。

《予措》

収穫後、直射日光の当たらない風通しの良い場所で、1〜2週間かけてミカンを乾燥させ、3%程度を目安に果実重を減少させます。予措を行うことで果皮の水分が減少し、貯蔵時に湿度の影響を受けにくく、貯蔵管理のしやすいミカンになります。

《病害虫防除》

貯蔵病害を予防するために、収穫前に防除を行います。貯蔵病害は、果実についた細かい傷などから感染するため、果実の丁寧な取扱いも心掛けてください。

ベフラン液剤25	2000倍	収穫前日-3回
ベンレート水和剤	4000倍	収穫前日-4回